

ユーザーレポート ～0の証明～

USER REPORT

IT点呼システムの導入と、安全最優先の意識の徹底化により荷主から高評価を受ける。

株式会社 石島運輸倉庫

株式会社 石島運輸倉庫

創業から80年を迎える株式会社 石島運輸倉庫は、群馬県に拠点を置き、業務用の家電、自動車部品の輸送、大手路線会社の幹線輸送を主業務としている。点呼の集約化から飲酒管理までIT点呼システム Tenko-PRO の機能を活用して安全意識を一段と高め、荷主から厚い信頼を得ている。



会社を守るシステムの仕組み

川島氏：弊社は平成19年にGマークを取得しました。その後、点呼時のアルコール検知器使用の義務化や、お世話になっている労務士の方から記録保存の必要性のアドバイスをを受けてTenko-PRO導入を決めました。

青木氏：現在、福岡営業所の出勤点呼を本拠地の群馬で行っています。福岡営業所に比べてドライバーと車両の数が多く、24時間体制で動いている群馬側で点呼業務を一本化しようということもTenko-PRO導入の動機でした。導入にあたって他社製品と比較検討しましたが、東海電子製は特にセンサーの能力が優れていると思います。法令による飲酒管理が厳しくなる中、高精度のセンサーでチェックすることは会社を守ることにつながりますし、ドライバー本人を守ることもなります。

コスト>社会的信用=意識の変化

川島氏：これまで使っていた携帯型のチェッカーに比べて正確な数値を把握できるようになり、ドライバーたちの飲酒に対する意識が変わりました。ドライバーには飲酒量の教育を行い、酒気帯び運転は絶対にいけないと伝えていますが、Tenko-PROはそうした安全教育につなげていく良いツールになっています。飲酒運転で事故を起こせば会社の命取りになる時代です、機器の導入コストはかかっても社会的信用はお金には代えられません。

青木氏：意識変化は運行管理の面でも感じます。当初はデジタコのデータだけ提出して帰ってしまうドライバーもいました。それが今では「検査前にコーヒーを飲んでしまった」という言葉が出てくるようになりました。「IT点呼をやらなくてはいけない」という意識が浸透してきた証拠で、それだけでもTenko-PRO導入の効果はあったと思います。運行管理者として点呼を行いやすくなり、それが業務の円滑化につながっています。

経営理念
真心はこび
人財づくり

きめ細かい保守点検に安心

青木氏：Tenko-PROの運用初日には東海電子のサポート担当者に一日立ち会ってもらいました。その後も定期的に保守点検があるので安心して使えます。多機能なので使い方に慣れが必要ですが、その都度、フォローをして頂きました。検査に使うフィルターも定期的に送られてきます。常に新しい状態で使えるのでとても助かっています。

川島氏：先日、荷主様が当社に来られて安全教育と商品事故防止の取り組みを見学していただきました。Tenko-PROのような機器があると評価は高いです。安全は運送会社だけに任せておくのではなく、荷主様も含め輸送に関わる者全員で取り組まなくてはいけない時代なのだと思います。



川島氏は「点呼時のチェックは自分自身を守るために行うもの」と言う。点呼は単なる確認作業ではない。本来の目的は安全最優先の姿勢を持ち続けることにある。石島運輸倉庫のTenko-PRO導入事例はそれを教えてくれる。

ご利用機器

IT点呼システム

Tenko-PRO

取材ご協力

株式会社 石島運輸倉庫

関東支店 取締役支店長 川島 清様
群馬営業所 総務課課長 青木 豊様

〒379-2704
群馬県太田市大原町2456
TEL 0277-78-6451
FAX 0277-78-6453

